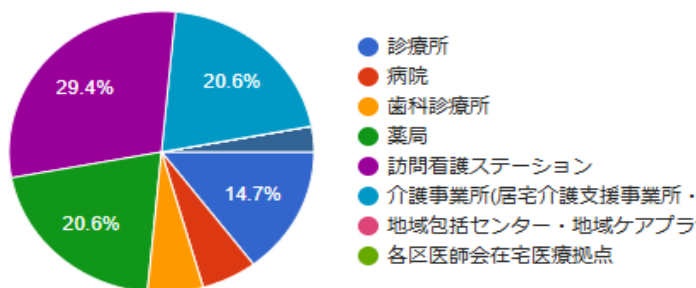


令和6年11月19日疾患別医療・介護連携事業「第1回糖尿病多職種連携研修」アンケート結果

参加者：47名(回収率：72%)

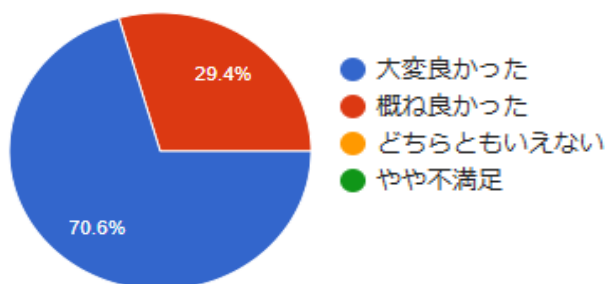
1 所属



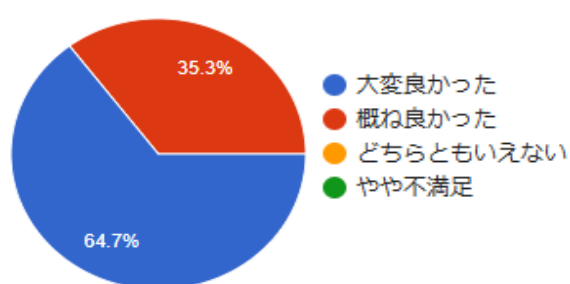
2 職種

職種	数
医師	7
歯科医師	3
保健師・看護師	16
主マネ・ケアマネ	6
リハビリ職	2
薬剤師	9
MSW・社会福祉士	1
管理栄養士・栄養士	1
その他	2
合計	47

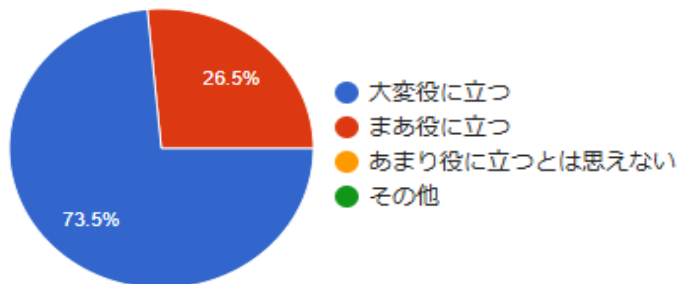
3 「糖尿病を持つ方が在宅療養で生きるということ」  
はいかがでしたか



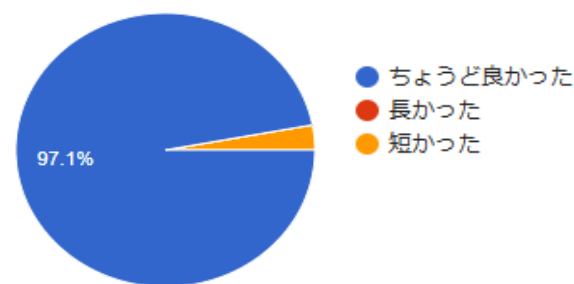
4 「在宅療養における糖尿病患者さんの  
食事療法」はいかがでしたか



5 本日の研修は今後の治療やケアに役立つか



6 研修時間



7 印象に残った言葉や感想

在宅医療における糖尿病診療や栄養管理についてわかりやすい説明で理解できました(類似：1)  
 中食は私自身もよく使うので、指導ばかりではなく自分の生活習慣見直しのために気をつけようと思います  
 在宅に向けてのインスリン注射の話や、中食の話がこれからは役立つと思います(類似：1)  
 薬局で患者さんから食事内容を含む健康相談を受ける機会もあり、今回は専門家からのレクチャーを受けられて良かったです  
 糖尿病治療の目的について、血糖値を下げるのではなく、普通の方と同じ生活が送れるようにすること、との宮下先生のお話が印象的でした  
 ストレスの軽減とバランスの良い食事が大切な事が、良くわかりました  
 内服治療やインスリンの指標、なぜその数値を基準としているのかの説明が分かりやすかったです(類似：3)  
 糖尿病の方にとって日々の食事管理は、身近な物を例に説明して下さったので理解しやすかったです  
 学んだ事を薬の選択肢の提案や食事バランスの指導の見直しに役立てたいと思います(類似：1)  
 投薬時の食事指導に今日学んだ事を活かしたいと思います  
 糖尿病は体質の影響も大きい それを踏まえながら患者さんも食事療法や運動を頑張る 医療者も生活習慣病だとレッテルを貼らずに関わっていくことが大切(類似：4)  
 栄養の話が良かった  
 週1回のインスリン注射の質問をよく受けます 今まで曖昧に返答していましたが今後はしっかりと返答できます